

THE RECORD 10

1999
No.479

- 権利の集中管理等に関する意見書提出
- 第37回レコード寄贈行われる
- IFPI世界のレコード産業年鑑99年版発行
- 統計資料—オーディオディスクレコードの輸出入状況

RIA

Recording Industry Association of Japan

IFPI／RIAJ韓国セミナー開催

9月17日、ソウルにおいて、IFPI主催による同セミナーが行われました。

これは、韓国における日本文化開放政策の下、近い将来日本のレコードが同国市場に開放されることに備え、日本の音楽産業の状況と法律制度、アジア地域の音楽産業の状況、そして韓国の最新の著作権法改正状況について、韓国の音楽産業関係者を対象に行われたものです。

しかし、香港を襲った台風の影響でIFPIの講師が来韓できなかつたため、韓国連絡事務所長がIFPIの活動について講演しました。

概要は以下のとおりです。

<日本レコード協会>

1. 池口会長

金大中大統領来日時の日本文化開放声明発表以降における日韓関係の緊密化増進、デジタル時代の中で必要な権益擁護・拡大と需要拡大に向けた日本レコード協会の役割、音源データベースの構築、協会運営に対する協会組織及び関係官庁と国内外関係諸団体との関わりに言及し、日本の著作権法100年記念の一環としてのフォーラムを開催することと、韓国の音楽産業と良好な関係の下に産業振興を図っていきたい旨を表明しました。

2. 木村専務理事

日本の著作権制度（歴史、権利の内容）、違法対策、訴訟事件の概要について解説したほか、日本のレコード産業に関する統計データ、流通システム、各種使用料と報酬の徴収業務等について説明しました。

3. 今村著作権部長代理

WIPO条約批准に向けた日本の著作権法改正状況を解説しました。

<IFPI>

IFPIの活動について、主に海賊対策、ネットワーク上の違法対策、SDMIの概略、ISRCシステムの利用促進、SIDコード・システムによる海賊CD追跡システムの採用、SCMSの運用状況等について説明が行われました。

<韓国著作権審議・調整委員会>

同委員会（日本の著作権審議会に相当する組織）を代表して、Lee Young-Rock調査官から、韓国における最新の著作権法改正に関する解説が行われました。

概要は以下のとおりです。

1. 韓国内外における技術開発と著作権環境の変化

アナログからデジタルへの環境変化、特にコンピュータと送信技術の急速な発展に伴い、著作権を取り巻く環境の変化に対応した法改正の必要性が生じています。

2. 韓国内外の環境変化による著作権法改正の必要性

1957年に制定された著作権法は、1987年、万国著作権条約加入のために全面改正されました。その後、ベルヌ条約とWTO（世界貿易機関）の知的所有権協定を締結するために再度改正され、1995年8月21日に発効しました（現行著作権法）。

しかし、コンピュータの急激な普及と伝送技術の発達に伴って、知的財産の国際的頒布が盛んになり、国際的な調和を図る必要に迫られ、韓国の著作権制度も見直される必要があります。

WIPO国際条約（著作権、実演・レコード条約）を地球規模で適用するための準備が進められていることもあり、韓国も後戻りはできない状況にあるため、著作権審査・調整委員会は1996年と1997年の2年を掛けて法改正に向けた研究を行いました。欧米日で進められた研究を参考と氏ながら、デジタル環境に即した法改正が進められます。

3. 韓国著作権法の提案されている改正案の概要

大きく2つのパートに分かれており、1つはデジタル環境に対応するもので、もう1つは現行法の執行規定に関する問題解決策です。

(1) デジタル環境を反映した改正

①送信（伝送）権の導入

②複製の定義の変更

③図書館におけるデジタル複製と保管データの展示

④私的利用のために許容される複製の範囲の変更（私的録音録画補償金制度の導入）

(2) 現行法改善のための改正（関連項目のみ）

①権利侵害に対する救済措置の強化

②損害額立証資料の提出命令

(3) 結び

今回の改正はデジタル環境に対応するためのものですが、毎年のように改正が重ねられる可能性があるため、全ての問題がこれに含まれている訳ではなく、引き続き検討を要する問題があります。

今回の改正に含まれている送信権については、著作隣接権者には適用されません。更に、オンライン・サービス・プロバイダーの責任、送信権に伴う著作権関連情報と技術的問題（保護手段）に関する事項は含まれていません。しかし、これらの問題についても近い将来検討されることになると思われます。

デジタル環境の下では、ユーザー側の権利、特に権利侵害することなく利用できるシステムが構築される必要もあります。従って、デジタル環境下の権利を改善するに当たっては、利用者の立場も考慮していく必要があります。

尚、上記改正法案は通常国会（今月9月召集）若しくは臨時国会で審議される見通しで、今年末までに改正したいと考えられています。

以上

権利の集中管理等に関する意見

当協会は、著作権問題に関する審議事項が公表されて広く意見が求められる場合は、積極的に意見を提出してきています。

9月上旬、著作権審議会権利の集中管理小委員会専門部会が公表した中間まとめ、及び、文化庁が検討している著作権法改正検討事項に関する文化庁の意見聴取に対し、当協会の意見書を提出しました。

その概要は以下のとおりです。

<権利の集中管理に関する中間まとめ>

権利の集中管理小委員会専門部会が公表した中間まとめの概要は、「規制緩和と自由競争原理の導入を大前提として、集中管理団体の新規参入を認め、且つ、同一分野における複数の管理団体の併存を認めながら、団体の公益性を維持するため、緩やかな規制を設ける。

規制緩和の主旨に鑑み、管理団体の設立については従来の許可制から登録制にし、使用料については認可制から届出制にする。

個々の利用実態把握が困難、使用著作物等の量・種類・頻度が多大等の理由で包括許諾方式が妥当な分野については参入要件を厳しくすべきである。

一任型集中管理（管理団体自らが使用料を決定する権限を有する管理方法）団体については、不公正な取引法との関連に留意しながらも応諾義務を法律に明記すべきである。

集中管理の分散化に対応するため権利処理代行業の設置、紛争処理のための新しい機関（例えば著作権審判所）の設置についての検討が必要である。」というものです。

当協会の意見は、①規制緩和と自由競争原理の導入を提言する中間まとめを支持しながら、②公正な利用を推進するためのマーケット・メカニズムが醸成されることの必要性、③参入要件を厳しくする分野について中間まとめの提言より範囲を限定すること、④必ずしも応諾義務は必要ではないこと、⑤審判制度を有効活用できる環境整備が必要であること、等を骨子としています。

<著作権法改正検討事項>

この検討は、大きく①執行・罰則規定の整備について、②著作権の保護期間延長についての、2点に関するものです。

最初の点については、著作権侵害行為の立証に必要な書類の提出命令をできることとするかどうか、権利者の立証負担を軽減する方策を導入するかどうか、法人等による権利侵害に対して罰金を増額するかどうか、が、主な点です。

2番目の点については、著作権の保護期間を50年から70年に延長するかどうか、一度消滅した写真の著作権を復活させるかどうか、というものです。

当協会は、権利侵害に対する抑止力として執行・罰則規定の整備を支持しながら、現在告訴が必要とされている著作権法上の権利侵害に対し、非親告罪（権利者の告訴がなくても捜査が開始できる）とすることと、著作権の保護期間延長の検討に合わせて著作隣接権についても同様の検討がされることを要望しています。

世界のレコード産業年鑑1998年版

IFPI・世界のレコード産業年鑑'99年度版を発行

IFPIは、世界の音楽市場データを取りまとめたレコード産業年鑑1999年度版を、8月下旬に発行しました。この年鑑は、録音音楽ソフトの販売状況を、全世界・地域別・国別に91年から98年にかけて調査したものです。形態別・レパートリー別及びCDプレーヤーの普及率、1人当たりの売上、その他経済データなどの興味深い情報を掲載しています。

今回この中から、主要国の状況、全世界売上推移、各地域データをピックアップしてみました。

【1998年レコード売上規模・国別ランキング上位10ヶ国】

	国名	売上金額 (単位:百万USドル)	1人当たり購入額 (USドル)
1	アメリカ	13,193.4	48.2
2	日本	6,521.0	51.8
3	ドイツ	3,011.9	36.6
4	イギリス	2,855.6	49.0
5	フランス	2,134.8	36.4
6	ブラジル	1,055.7	6.4
7	カナダ	969.3	32.1
8	スペイン	680.8	17.1
9	オーストラリア	606.7	33.0
10	オランダ	561.1	35.7

<1998年基本データ>

- ※世界の人口 : 59億人
- ※25歳以下の人口 : 28億3,200万人
- ※発展途上国の人口 : 50億1,500万人

上記10カ国で全体売上の87.4% (315億9,030万ドル) を占めています。

【1991~1998全世界売上合計推移】

年度	シングル (百万枚)	LP (百万枚)	カセットテープ (百万枚)	CD (百万枚)	総計 (百万USドル)
1991	330.8	268.9	1,484.3	985.0	27,149.9
1992	349.0	165.0	1,560.5	1,170.5	29,199.2
1993	405.6	102.3	1,495.5	1,399.0	30,906.4
1994	385.0	44.5	1,508.1	1,763.5	35,803.4
1995	425.7	30.8	1,399.1	1,961.5	39,373.6
1996	460.5	21.0	1,418.3	2,144.1	39,509.4
1997	513.1	17.3	1,337.1	2,229.4	38,616.3
1998	457.0	16.3	1,196.6	2,361.9	38,664.3

1991年の271億ドルから、98年は387億ドルと成長を続けています。年成長率が数量・金額ともに4%、CDアルバム売上が平均14%、シングルが5%成長しています。カセットは依然として世界市場で確実に33%を占めています。

【各地域データ】

(アルバム)(%)

地域	全世界売上との比較		1991~1998成長率平均		一人当たりの 音楽購入率
	数量	金額	数量	金額	
ヨーロッパ	29.8	33.6	2.8	1.2	1.5
北アメリカ	30.2	36.6	5.1	5.3	3.7
アジア(日本を除く)	18.7	3.4	3.1	3.9	0.2
日本	9.4	16.9			2.8
ラテンアメリカ	6.5	6.1	7.1	7.9	0.5
オーストラリア	1.5	1.8	2.7	2.7	2.5
中東・トルコ	2.9	0.9	2.9	-1.4	0.6
アフリカ	1.0	0.6	5.0	1.5	0.1

〈ヨーロッパ〉西ヨーロッパの1人当たりの音楽購入率は世界平均の3倍以上で、中でもイギリスは世界1の4.1です。

〈北アメリカ〉昨年(97年)の不調を取り戻して、更に上向きです。

〈アジア〉一部を除き、大半の国でその地域の経済危機を反映した結果になっています。

〈ラテンアメリカ〉昨年までは世界で最も成長率が高い地域でしたが、98年は最近で初めて減少傾向になりました。

〈オーストラリア〉97年から続いている減少傾向は98年も変わりません。

〈中東・トルコ〉バーレーンとエジプトを除き、極端な減少傾向です。

〈アフリカ〉世界1小さい売上の地域ですが、98年は更に減少しています。

第8回廃盤セール 他

第8回廃盤セールのお知らせ

今年も「レコードファン感謝祭'99廃盤特別謝恩セール」の開催時期が近づいて参りました。今年も、新たな企画も用意しておりますので、是非ともご来場下さいますようお願いいたします。

なお、9月末現在の出品予定数は9,200タイトル、23万5,000枚となっています。

■開催場所・日程

オーディオエキスポ'99会場併設特別スペース
東京ビッグサイト西1ホール
東京都江東区有明3-21-1
11月20日(土) AM10:30~PM4:00
11月21日(日) AM10:30~PM4:00

■主催

日本レコード協会加盟メーカー全社

(財)音楽産業・文化振興財団、中国・北京 で「日本音楽著作権セミナー」開催

(財)音楽産業・文化振興財団は、著作権法100年記念事業として中国に於ける著作権思想の啓蒙・普及を目的に、8月27日北京市で「日本の音楽著作権に係わる諸権利」をテーマにセミナーを開催しました。

5月に開設した「日本音楽情報センター」を拠点にして、北京市の中国著作権協会、法律事務所、レコード製作者、出版社、音楽関係団体等にセミナーへの参加を呼びかけ、約160名の方が参加しました。

【セミナーのテーマと講師の方々】(敬称略)

1. 「日本の音楽著作権について」
木村 豊 (日本音楽著作権協会 常務理事)
2. 「日本に於ける音楽出版社の役割」
渡邊美佐 (音楽出版社協会 会長)
3. 「日本のレコード産業について」
木村三郎 (日本レコード協会 専務理事)
4. 「日本に於けるレコードビジネスモデルの実例～PUFFY」
松尾修吾 (音楽産業・文化振興財団 理事長)

レコード各社、再販制度の新たな弾力的 運用取組を順次発表 (その3)

昨年3月末日に公表された公正取引委員会の著作物再販制度の検討結果に応じて、レコード各社が、順次新たな弾力運用を発表していることについて、本誌98年12月、99年4月号にて掲載致しましたが、その後も下記の通り各社から発表されています。

1. <BMGファンハウス>99年4月26日発表
シングル盤(8cmCD・シングルカセット・17cmアナログディスク)(邦洋)とクラシック・アルバム、ジャズ・アルバム(12cmCD・カセット・30cmアナログディスク)の時限再販期間を99年7月1日発売新譜から現行の2年間で1年間に短縮する。
2. <プライエイド・レコーズ>99年7月1日発表
邦楽・洋楽の8cmCDシングル・シングルカセット・12cmマキシシングルCDの時限再販期間を99年10月1日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。
3. <ユニバーサルミュージック>99年7月7日発表
邦楽・洋楽の8cmCDシングル・12cmマキシシングルCD・シングルカセットの時限再販期間を99年10月1日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。

4. <日本クラウン>99年7月16日発表
8cmCDシングル・12cmマキシシングルCD・シングルカセット(邦洋)の時限再販期間を99年9月22日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。
(注:メルダック含む)
5. <バンダイ・ミュージックエンタテインメント>99年7月16日発表
シングル盤(邦洋)の時限再販期間を99年10月21日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。
6. <パイオニアLDC>99年8月19日発表
邦楽・洋楽の8cmシングルCD、12cmマキシシングルCD及び洋楽アルバムCDの時限再販期間を99年10月27日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。
7. <フォーライフレコード>99年9月17日発表
8cmCDシングル(邦洋)の時限再販期間を99年10月21日発売分から現行の2年間で1年間に短縮する。
(発表順)

文化庁舞台芸術創作奨励賞 「創作作品募集」のお知らせ

文化庁では、舞台芸術の振興に資するため、独創的な創作作品を広く募り、優れた作品の作者に対し創作奨励特別賞等を贈って創作活動を促進しておりますが、このたび、平成11年度の募集概要が発表されましたのでお知らせします。

○募集部門

(管弦楽曲) 管弦楽(協奏曲の形態のものを含む)の作品とし、編成及び演奏時間の制限は特に設けません。

(現代演劇) 400字詰原稿用紙90～150枚程度の戯曲。
※申請作品は未発表のものに限ります。

○申請資格

申請者の資格は問いません。ただし、同一部門で既に創作奨励特別賞を受賞したことのある方は申請できません。

○申請受付期間

(管弦楽曲) 平成12年1月19日(水)～1月21日(金)
(現代演劇) 平成12年1月5日(水)～1月7日(金)

○申請方法

募集要領に従い所定の申込書を添付して申請してください。なお、募集要領と申込書は、90円分の切手を添えて、下記へご請求ください。

○選考・発表

文化庁が委嘱した選考委員の協力を得て、平成12年3月末日までに選考し、発表、授賞します。

創作奨励特別賞(各部門1作品以内)

賞状及び賞金100万円

創作奨励賞佳作(各部門3作品以内)

賞状及び賞金20万円

○選考委員

(管弦楽曲) 池辺晋一郎、一柳慧、樋崎洋子、

野田暉行、若杉弘

(現代演劇) 石澤秀二、佐藤信、清水邦夫、

西川信廣、松岡和子

※創作奨励特別賞の受賞作品は、文化庁でその上演を配慮します。

お問い合わせ・応募先

文化庁文化部芸術文化課支援推進室 創作作品募集係

〒100-0013東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL 03-3581-4211 (内線2082)

第37回福祉・厚生施設へのレコード寄贈 他

第37回福祉・厚生施設へのレコード寄贈実施

当協会では本年も全国の福祉・厚生施設にレコード合計8,400枚・巻（コンパクトディスク、カセットテープ）を寄贈しました。本年度は、国際音楽の日（10月1日）を中心とした日程で、全国420カ所の児童保育施設、心身障害者施設、老人ホーム等へ実施しました。

これは、各施設の皆様により広く、多くの音楽を聴いて頂き、生活にうるおいを持っていただくことを願って、昭和38年からアナログディスク寄贈を始め、58年からはカセットテープ、平成5年からはコンパクトディスクとカセットテープを寄贈し続けているもので、今回で37回目となります。

本年度寄贈事業は、レコード会社の本社及び営業所・支店所在地の施設の内、1カ所へは直接訪問して寄贈し、その他は（財）日本民生文化協会を通じて行いました。東京地区は、9月30日（木）に東京・荒川区の上智厚生館保育園にて行われました。当日は、小室等さん、清水國明さん〔（株）フォーライフレコード〕、東京十日会（メーカー会）・日本レコード商業組合東京支部のそれぞれの代表の方と当協会の関係者と共に訪問し、同保育園の渡辺とし子園長にコンパクトディスク、カセットテープを手渡しました。

小室等さん、清水國明さんのお二人からは、最新シングル「まゆげの唄」（NHKみんなのうた）他の歌のプレゼントがあり、寄贈に花を添えました。

IFPI（国際レコード産業連盟）での研修を終えて

昨年9月からIFPIロンドン本部に研修に行っていた当協会事務局末永が、9月20日付で日本に戻りました（所属・著作権部）。今回は1年を通しての報告を掲載します。

IFPI（International Federation of Phonographic Industry、国際レコード産業連盟）は、5大メジャーを含む、世界70カ国以上のレコード会社1,300社で組織されています。そして、世界の音楽産業の健全な発展のために必要な権利の保護と獲得、また大きな問題となっている海賊版対策や新技術への対応等の活動を行っています。設立は1933年と古く、RIAJ（日本レコード協会）は1957年に加盟しました。

本部はロンドンにあり、本部にはAdministration（管理）、Finance（財務）、Operations（業務）、Enforcement（海賊版対策）、Technology（技術）、Legal Affairs（法務）、Communications（広報）、Market Research（統計）の8部門が置かれ、約50名の職員がいます。

現在のIFPI会長は、Mr Jay Berman、前RLAA（米国レコード産業連盟）会長が今年1月から現職に就いています。

現在、大きな問題となっているのはやはり海賊版CD対策です。海賊版CDの製造、流通および販売が世界規

模で組織的に行われるようになってきており、その対策には各国の政府・警察の協力が不可欠のものとなっています。IFPI内でも、Enforcement（海賊対策）部門の人員の増強が毎年行われております。

また、デジタル・フォーマットによる様々な音楽流通チャンネルと音楽利用モデルにおけるセキュリティ技術の確立を目的として結成されたSDMI（Secure Digital Music Initiative）においても、IFPIのTechnology（技術）部門が積極的に活動し、レコード産業にとって有利なものとなるように働きかけを行っています。

IFPIで1年間の研修をさせていただきましたが、EU議会に対する組織的ロビー活動や他団体とのネゴシエーションにおいて大変勉強になる部分があり、今後の当協会での業務に生かせるものと思います。

さて、最近のイギリスは景気の良さが続いていることに加え、「シェークスピア・イン・ラブ」、「ノッティング・ヒル」と国内製作の映画の世界的ヒットが続き、映画界は活気に溢れています。「ノッティング・ヒル」の舞台にもなっているポートベローを訪れる観光客は、この映画のヒットの影響もあり前年に比べ10%以上増えているそうです。ぜひ、ロンドンを訪れた際はポートベローのマーケットに足を運んでみてはいかがでしょうか。

冬のロンドンはまだあまりお薦め出来ませんが…。

当協会異動について

当協会の9月度理事会において副会長2名が選任されました。また、調査室関係でも異動がありましたので併せておしらせいたします。

新副会長（敬称略）

依田 巽（AVX）

稲垣博司（WMJ）

調査室長人事異動（敬称略）

9月30日付退職者

大阪調査室総括調査室長 大森 宏

10月1日付入社

大阪調査室調査室長 南 昇（テイチクから出向）

10月1日付異動

要 孝之 大阪調査室総括調査室長に就任

10月1日付転籍

浦田 稔 日本コロムビアから転籍（嘱託）

テイチク株式会社が移転

テイチク株式会社が下記へ移転いたしました。

新住所（9月27日から業務開始）

〒150-8516 東京都渋谷区神宮前6-27-8

京セラ原宿ビル6F

TEL 03-5778-1721（人事部）

世界の話題

オランダ、海賊版CD製造組織摘発

9月9日、オランダにおいて過去最大規模の違法CDの取引が摘発されました。この摘発プロジェクトは慎重な準備の結果、違法CD製造組織を撲滅させることが出来ました。

IFPI（国際レコード産業連盟）、IFPIオランダ・ナショナルグループ（NVPI）およびオランダ海賊対策連合（BREIN）は、オランダ国家犯罪調査部隊の組織的違法CD製造に対する摘発に協力をしました。その摘発において、BREINと徴収団体であるBuma / Stemaの調査部門が大きな役割を演じました。

容疑者の逮捕および家宅捜索の結果、大量の現金と銃器が押収されました。この組織は過去4年間に430万枚以上のCDを製造してきており、小売価格で1億ギルダー（53億円）に相当すると見られます。

この組織が製造していた違法CDには、毎月の最新ヒット・チャートから20のヒット曲が1本のテープに録音され、そのDATが工場に手渡され、毎月8万枚のCDがプレスされていました。これらの違法CDは、ある小売チェーンで1枚25ギルダーで販売されていたと見られます。

この摘発に関して、BREINの代表は「この結果には大変満足している。しかし、同時にオランダ音楽産業がいかに危機的な状況にあるかを示している。」

（99年9月9日IFPIプレスリリース）

99年上半期世界レコード売上 —金額で横ばい、数量で4%落込む—

1999年上半期のオーディオ・レコードの世界売上は金額でほぼ前年並み、数量では4%下回りました。カセットの売上は1%減となりましたが、CDの売上は

1%の増加となっています。シングルの売上は、好調だった前年同期に比べ16%下回っています。

地域別に見ると、ヨーロッパとラテンアメリカで落込みが見られ、それに対し北アメリカでは、売上金額・数量とも2%の伸びとなりました。売上が伸びたいくつかの地域のうち、特に東南アジアでの売上の回復が顕著です。

ヨーロッパ全体では金額で3%減、数量で10%減となっており、世界売上に大きな影響を与えました。東ヨーロッパでは売上が急激に減少しており、特にロシアは経済危機の影響をまともに受け、数量で50%減となっています。EU内で見ると、いくつかの主要マーケットで落込みが見られました。ドイツは10%減、オランダは8%減、イギリスは6%減となっています（すべて数量）。

アジア各国は1998年の危機的落込みから回復に向かい始めており、日本を除くアジア全体の伸びは数量で5%、金額（ドル換算）で11%となっています。日本では、シングルの売上が大きく減少し、この影響で全体では数量で8%減、金額で2%減となっています。

ラテンアメリカでは、最大のマーケットであるブラジルが景気後退の影響および海賊版CDの急激な増加のために、数量で31%減、金額で41%減となっています。しかし、メキシコでは13%の金額増、4%の数量増加、またアルゼンチンでも2%の金額増、8%の数量増となり回復を示しています。

中間統計は、レーベルの発売スケジュールの影響を受けやすいため、過去の例から見ても、中間統計が年間世界売上の正確な指針とはなりません。

この上半期統計は、IFPIが世界45カ国の売上に基づいてまとめたものです。

なお、1998年の年間平均オーディオ・レコードの売上は金額で3%（387億米ドル）の増加となっています。

会議メモ（主なもの）

（9月1日～9月30日）

9・1 再販問題研究プロジェクト
9・2 DVDオーディオ表示検討WG
9・8 基礎知識講座プロジェクト
著作権部会
洋楽宣伝専門部会
9・10 レコード制作基準倫理委員会
音楽ギフトカード委員会
9・13 視聴実験プロジェクト

9・13 営業部会
私的録音問題WG
9・14 洋楽部会
9・16 業務委員会
邦楽制作部会
9・17 調査統計部会
制作技術専門部会
ビデオ部会
9・20 日本GD大賞実行委員会
新譜発売日検討委員会
9・21 デジタル音楽情報委員会
9・22 万引き防止対策委員会・発売
日検討委員会合同会議

9・22 インターネット部会
貸レコード対策委員会
9・24 理事会
マーケティング戦略会議
9・27 CCD権利保護研究会
9・28 廃盤セールプロジェクト
技術委員会
法制委員会
9・29 人権問題推進連絡会
宣伝部会



HIT CHART DATA

1999年8月度(99年7月21日~99年8月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	なぜ…	Hysteric Blue	1999.07.28	SME
2.	Driver's High	ラルク・アン・シエル	1999.08.11	SME
3.	AS TIME GOES BY	hiro	1999.08.18	TF
4.	Days/My Diamond	ポケットビスケッツ	1999.07.23	TO
5.	Sunny Day Sunday	センチメンタル・バス	1999.08.04	SME
6.	センチメンタル	ゆず	1999.08.18	SN
7.	as A person	華原朋美	1999.07.22	WJ
■洋楽シングル BEST7				
1.	ライフ	DES'REE	1998.06.10	SME
2.	ザ・デイ・ザ・ワールド・ウェント・アウェイ	ナイン・インチ・ネイルズ	1999.08.18	UV
3.	Eyes On Me featured in Final Fantasy VIII	フェイ・ウォン	1999.02.24	TO
4.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	1997.10.25	WJ
5.	ビューティフル・ストレンジャー	マドンナ	1999.07.14	WJ
6.	ロック・イズ・デッド	マリリン・マンソン	1999.08.11	WJ
7.	LOOK UP 上を向いて歩こう	ジーノ・ヘンダーソン	1999.07.31	C
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	Viva La Revolution	Dragon Ash	1999.07.23	V
2.	A	浜崎あゆみ	1999.08.11	AVT
3.	C album	KinKi Kids	1999.08.04	JE
4.	音楽	19 (ジューク)	1999.07.23	V
5.	Higher and Higher!	DA PUMP	1999.07.28	AVT
6.	GOLDEN BEST	井上陽水	1999.07.28	FL
7.	リッキー・マーティン~ヒア・アイ・アム	リッキー・マーティン	1999.06.19	SME
■クラシックアルバム BEST7				
1.	クラシカル・エパー1	3大テナー、マリア・カラス他	1999.06.23	TO
2.	天使の歌声	シャルロット・チャーチ	1999.02.20	SME
3.	ヨー・ヨー・マ・ブレイズ・ピアソラ	ヨー・ヨー・マ	1997.10.29	SME
4.	ヨー・ヨー・マ ベスト・アルバム	ヨー・ヨー・マ	1998.10.01	SME
5.	イン・コンサート エディタ・グルベローヴァ&米良美一	エディタ・グルベローヴァ (S)、米良美一 (C-T)	1999.07.28	K
6.	クラシカル・エパー ララバイ	カラヤン指揮/ウィーン少年合唱団他	1999.06.23	TO
7.	カヴァティーナ	村治佳織	1998.11.21	V
■洋楽アルバム BEST7				
1.	リッキー・マーティン~ヒア・アイ・アム	リッキー・マーティン	1999.06.19	SME
2.	スーパーヒート Vol.100 ANNIVERSARY SPECIAL REQUEST COUNTDOWN 100!!	V.A.	1999.08.04	AVT
3.	ダンスマニア X3	キャプテン・ジャック他	1999.07.23	TO
4.	Mary	メアリー・J・ブライジ	1999.08.09	UV
5.	Millennium	バックストリート・ボーイズ	1999.04.28	AVT
6.	スーパーナチュラル	DES'REE	1998.06.24	SME
7.	シンクロナイズド	ジャミロクワイ	1999.06.07	SME

※AL: アルファミュージック/AO: アメモラ・オータウン・レコード/AR: アンティノスレコード/AVT: エイベックス/BG: ビーグラムレコーズ/BM: ルームスレコーズ/BME: バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG: BMGファンハウス/C: 日本コロムビア/CA: カナリー企画/CR: 日本クラウン/CT: カッティング・エッジ/EP: ゼティマ/EW: イーストウエスト・ジャパン/FH: ファンハウス/FL: フォーライフレコード/JE: ジャニーズ・エンタテインメント/JF: J-FRIENDS P./K: キングレコード/KT: キティエンタープライズ/ME: メルダック/MME: マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/PC: ポニーキャニオン/PG: ポリグラム/PI: パイオニアLDC/PO: ポリドール/PS: ポリスター/PZ: ピザ・オブ・デス・レコーズ/QT: パルコ/RO: ロックイットレコード/SME: ソニー・ミュージックエンタテインメント/SN: SEHNA & CO./TA: ニュートラス/TKD: TDKコア/TE: テイチク/TF: トイズ・ファクトリー/TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO: 東芝EMI/UM: ユニバーサルミュージック/UV: ユニバーサルビクター/V: ビクターエンタテインメント/VAP: ヴァップ/VF: ヴェルファール/WJ: ワーナーミュージック・ジャパン/XR: ゼロ・コーポレーション/ZA: ズァインレコーズ

■アルバム (26作品)

【邦 楽】

●2ミリオン

FRIENDS/B'z/1992.12.09 (BM)
Viva La Revolution/Dragon Ash/1999.07.23 (V)

●ダブル・プラチナ

BE TOGETHER/鈴木あみ/1999.07.14 (SME)
Boys & Girls/浜崎あゆみ/1999.07.14 (AVT)
C-album/KinKi Kids/1999.08.04 (JE)
A/浜崎あゆみ/1999.08.11 (AVT)

●プラチナ

音楽/19 (ジューク) /1999.07.23 (V)
セカンドモーニング/モーニング娘。/1999.07.28 (EP)
GOLDEN BEST/井上陽水/1999.07.28 (FL)
Higher and Higher!/DA PUMP/1999.07.28 (AVT)
魔法のリングにKissをして/岡本真夜/1999.08.04 (TJC)

●ゴールド

CLOVER/スガシカオ/1997.09.03 (KT)
HONEYFLASH/SILVA/1999.06.23 (PAR)
bird/bird/1999.07.23 (SME)
GAUZE/Dir en grey/1999.07.28 (EW)
RUMBLE/ザ・ミッシェル・ガン・エレファント/1999.08.06 (C)
LUCKY/V6/1999.08.18 (AVT)

【洋 楽】

●クワドラプル・プラチナ

FANMAIL/TLC/1999.03.06 (BMG)

●トリプル・プラチナ

リッキー・マーティン~ヒア・アイ・アム/リッキー・マーティン/1999.06.19 (SME)

●プラチナ

スーパーナチュラル/DES'REE/1998.06.24 (SME)
SUPER EUROBEAT Vol.100/ V.A./1999.08.04 (AVT)

●ゴールド

ユーフォリア/デフ・レパード/1999.06.02 (MME)

イツ・リアル/K-Ci & JoJo/1999.06.18 (UV)

On The 6/ジェニファー・ロペス/1999.06.23 (SME)

ダンスマニアX3/キャプテン・ジャック他/1999.07.23 (TO)

Mary/メアリー・J・ブライジ/1999.08.09 (UV)

■シングル (18作品)

【邦 楽】

●クワドラプル・プラチナ

恋の大阪/八島義郎/1998.05.21 (CA)

●トリプル・プラチナ

energy flow (「ウラ8 T T 8」)/坂本龍一/1999.05.26 (WJ)

●プラチナ

Fly/SMAP/1999.06.23 (V)
なぜ.../Hysteric Blue/1999.07.28 (SME)
Driver's High/ラルク・アン・シエル/1999.08.11 (SME)
AS TIME GOES BY/hiro/1999.08.18 (TF)

●ゴールド

ガタメキラ/太陽とシスコムーン/1999.06.23 (EP)
Happy Tomorrow/NiNa/1999.07.14 (SME)
GET WILD DECADE RUN/TM NETWORK/1999.07.22 (SME)
as A person/華原朋美/1999.07.22 (WJ)
Days/ポケットビスケッツ/1999.07.23 (TO)
10 YEARS AFTER/ TM NETWORK/1999.07.28 (SME)
Sunny Day Sunday/センチメンタル・バス/1999.08.04 (SME)
place/SOPHIA/1999.08.04 (TF)
Selfish/野猿/1999.08.04 (AVT)
Vanilla/Gackt/1999.08.11 (CR)
センチメンタル/ゆず/1999.08.18 (SN)

【洋 楽】

●ゴールド

ライフ/DES'REE/1998.06.10 (SME)

レコード生産実績

1999年8月度(99年8月1日～99年8月31日)

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

	8月実績							1999年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	8センチ 邦	5,871	19	71	3,765	10	72	69,572	24	63	43,981	12	64
	洋	24	0	44	16	0	47	483	0	60	300	0	66
	計	5,895	19	70	3,781	10	72	70,055	24	63	44,281	12	64
D	12センチ 邦	17,629	57	135	24,102	64	107	155,813	54	120	240,228	65	106
	洋	5,799	19	96	8,590	23	97	50,144	17	91	74,169	20	92
	計	23,428	76	123	32,692	87	104	205,957	71	111	314,397	85	103
D	小計 邦	23,500	76	110	27,867	74	101	225,385	78	93	284,209	77	97
	洋	5,823	19	96	8,606	23	97	50,627	17	90	74,469	20	92
	計	29,323	95	107	36,473	97	100	276,012	95	93	358,678	97	96
アナログディスク	邦	140	0	145	165	0	140	1,445	0	313	1,518	0	271
	洋	33	0	179	40	0	145	314	0	130	436	0	123
	計	173	1	151	205	1	141	1,759	1	250	1,955	1	213
合計	邦	23,639	77	110	28,031	74	101	226,830	78	94	285,727	77	97
	洋	5,856	19	96	8,646	23	97	50,941	18	90	74,905	20	92
	計	29,495	96	107	36,678	97	100	277,771	96	93	360,632	97	96
カセットテープ	邦	1,287	4	87	1,092	3	92	11,550	4	82	9,425	3	85
	洋	11	0	120	11	0	116	72	0	106	66	0	79
	計	1,298	4	88	1,103	3	92	11,622	4	82	9,490	3	84
総合計	邦	24,926	81	109	29,124	77	100	238,380	82	93	295,152	80	97
	洋	5,867	19	96	8,657	23	97	51,012	18	90	74,971	20	92
	計	30,793	100	106	37,781	100	100	289,393	100	93	370,123	100	96

表2. ビデオレコード

	8月実績						1999年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,024	42	134	2,180	22	100	6,525	31	95	15,356	23	85
テープ	1,420	58	70	7,824	78	103	14,531	69	95	51,225	77	92
合計	2,444	100	88	10,004	100	102	21,056	100	95	66,581	100	90

表3. オーディオ/ビデオ合計

	8月実績						1999年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	30,793	93	106	37,781	79	100	289,393	93	93	370,123	85	96
ビデオ	2,444	7	88	10,004	21	102	21,056	7	95	66,581	15	90
合計	33,237	100	105	47,785	100	100	310,449	100	93	436,704	100	95

<参考>表4. 複合型CD(CD-G、CD-I、CD-ROMなど)

	8月実績						1999年(1月～8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦盤	13,711	100	136	1,522	100	88	98,524	100	98	14,515	100	88
洋盤	0	0	50	0	0	11	6	0	15	16	0	12
合計	13,712	100	136	1,523	100	88	98,530	100	98	14,532	100	87

備考 1. 本年実績は、会員会社「21社」の集計である。当会員社が受託した非会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

統計資料 (151)

オーディオディスクレコードの輸出入状況

本号は1999年上期（1～6月）のアナログディスクとCDの輸出入実績を紹介します。
資料：大蔵省関税局「日本貿易統計」（通関実績）

表1 アナログディスクとCDの輸出入実績(1999年1～6月)

	輸 出				輸 入			
	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比	数量(千枚)	前年比	金額(百万円)	前年比
コンパクトディスク	1,780	99	1,902	106	22,240	94	12,046	81
アナログディスク	8	67	12	32	4,667	112	2,583	95
計	1,789	99	1,914	105	26,907	97	14,629	83

表2 アナログディスクとCDの地域別輸出入実績(1999年1～6月)

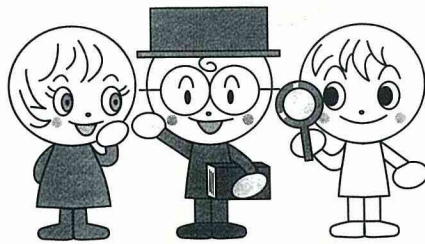
数量:千枚、金額:百万円、()内は対前年比

国 名	輸 出			輸 入			
	アナログディスク	C D	計	アナログディスク	C D	計	
アメリカ	数量	4 (36)	491 (121)	494 (119)	2,794 (114)	5,051 (83)	7,845 (92)
	金額	8 (23)	770 (140)	778 (133)	1,367 (93)	4,253 (77)	5,621 (81)
イギリス	数量	1 (748)	130 (180)	131 (181)	1,316 (101)	1,917 (83)	3,233 (90)
	金額	2 (825)	99 (134)	101 (136)	915 (91)	1,591 (79)	2,506 (83)
ドイツ	数量	2 (-)	98 (104)	101 (107)	182 (148)	2,580 (74)	2,761 (77)
	金額	1 (-)	97 (103)	98 (99)	121 (127)	1,803 (75)	1,924 (77)
オランダ	数量	0 (-)	158 (150)	158 (150)	24 (122)	1,720 (100)	1,744 (101)
	金額	0 (-)	89 (111)	89 (111)	18 (111)	1,284 (128)	1,302 (128)
フランス	数量	1 (66)	76 (81)	77 (81)	44 (85)	232 (84)	276 (84)
	金額	1 (67)	114 (66)	114 (66)	35 (153)	194 (78)	229 (85)
デンマーク	数量	-	0 (1)	0 (1)	1 (-)	56 (32)	64 (36)
	金額	-	0 (7)	0 (7)	0 (-)	50 (28)	53 (29)
スウェーデン	数量	-	3 (60)	3 (60)	8 (480)	56 (32)	64 (36)
	金額	-	4 (58)	4 (58)	3 (199)	50 (28)	53 (29)
イタリア	数量	0 (59)	7 (75)	7 (75)	130 (151)	152 (127)	282 (137)
	金額	0 (61)	11 (85)	11 (84)	76 (145)	108 (102)	184 (117)
韓国	数量	-	25 (156)	25 (153)	6 (275)	2,510 (298)	2,515 (298)
	金額	-	61 (201)	61 (197)	1 (400)	111 (90)	112 (91)
台湾	数量	-	160 (109)	160 (109)	-	1,404 (100)	1,404 (100)
	金額	-	180 (119)	180 (119)	-	134 (170)	134 (170)
香港	数量	-	399 (65)	399 (65)	-	3,059 (85)	3,059 (85)
	金額	-	261 (84)	261 (84)	-	393 (62)	393 (62)
シンガポール	数量	-	100 (163)	100 (162)	-	1,463 (106)	1,463 (106)
	金額	-	95 (76)	95 (76)	-	336 (80)	336 (80)
マレーシア	数量	-	4 (30)	4 (30)	-	115 (240)	115 (240)
	金額	-	8 (53)	8 (53)	-	87 (309)	87 (309)
カナダ	数量	-	6 (69)	6 (69)	9 (157)	1,057 (105)	1,066 (105)
	金額	-	8 (80)	8 (80)	4 (129)	1,082 (89)	1,086 (89)
ブラジル	数量	-	0 (54)	0 (54)	-	276 (97)	276 (97)
	金額	-	1 (34)	1 (34)	-	246 (69)	246 (69)
オーストラリア	数量	-	43 (176)	43 (176)	-	35 (24)	35 (24)
	金額	-	34 (158)	34 (158)	-	21 (23)	21 (23)
その他	数量	-	81 (71)	81 (71)	154 (135)	526 (90)	680 (98)
	金額	-	69 (60)	69 (60)	42 (133)	287 (75)	330 (79)
合計	数量	8 (67)	1,780 (99)	1,789 (99)	4,667 (112)	22,240 (94)	26,907 (97)
	金額	12 (32)	1,902 (106)	1,914 (105)	2,583 (95)	12,046 (81)	14,629 (83)

(注) 1. 輸出入実績は、委託加工品(OEM)を含む。

2. CD輸入実績のうち、レコード会社が外国契約から直接輸入した数量は、約31%と推定される。

3. 数量は、四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。



ちよちゃん

さくちゃん

けんちゃん

著作権法100年

copyright law centennial anniversary



1999年10月号

発行人 池口 頌夫

編集人 木村 三郎

発行日 1999年10月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.jmusic.ne.jp/>